

授業概要

科目名	作業療法概論					授業の種類	講義	講師名				
授業回数	15	回	時間数	30	時間	2	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1年	前期
【授業の目的・ねらい】 作業療法の全体像を知る。 作業療法の考え方、作業療法の歴史、各領域での作業療法の仕事、作業療法に必要な基本的知識を学ぶことで作業療法士がどんな役割を持って位置づけられているかを学ぶ。												
【実務者経験】 作業療法士として順心リハビリテーション病院、介護老人保健施設夢前白寿苑にて、身体障害領域での幅広いリハビリテーションに従事経験。												
【授業全体の内容の概要】 講義・グループワーク等を用い、作業療法の考え方、作業療法の歴史、各領域での作業療法の仕事、作業療法に必要な基本的知識を学ぶことで作業療法士としての役割について学ぶ。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 作業療法の全体像を理解できる。 作業療法の考え方、作業療法の歴史、各領域での作業療法の仕事、作業療法に必要な基本的知識を学ぶことで作業療法士としての役割が理解できる。												
回数	講義内容									準備物(教材)		
1	オリエンテーション									プリント資料		
2	作業療法の特徴									プリント資料		
3	作業療法の特徴									プリント資料		
4	作業療法の歴史									プリント資料		
5	作業療法の歴史									プリント資料		
6	ICF									プリント資料		
7	作業療法の過程									プリント資料		
8	作業療法の対象									プリント資料		
9	作業療法の対象									プリント資料		
10	作業療法の対象									プリント資料		
11	作業療法の対象									プリント資料		
12	作業療法と関連する職種									プリント資料		
13	作業療法の倫理									プリント資料		
14	医療・福祉制度									プリント資料		
15	まとめ									プリント資料		
定期筆記試験												
【使用教科書・教材・参考書】 標準作業療法 専門分野 作業療法概論 第3版 その他配布資料等												
【準備学習・時間外学習】 作業療法の概要や法律、歴史など幅広い知識が必要です。 レポート課題のための準備、予習が必要です。定期試験のための準備、講義の復習が必要です。												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は課題の評価を20点、定期筆記試験を80点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。												